

大阪・京都教区報

# つ の ぶ え

発行責任者 久敬 晴 磯 高 地 主 教 主 教  
 大阪教区教務所 06-6621-2179  
 京都教区教務所 075-431-7204  
 通算号数 大阪482号、京都742号

## 白と紫の糸で織りなされた

### 私たちの人生

司祭 バルトロマイ 三浦 恒久

「私が秘められた所で造られ地の底で織りなされたときあなたには私の骨も隠されてはいなかった。」

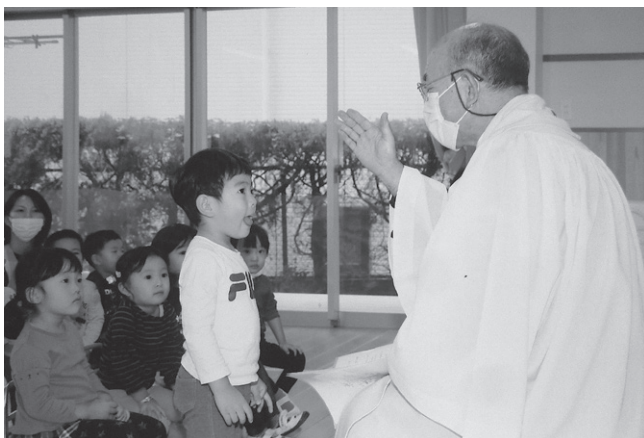
(詩編139・15)

定年が間近に迫って、ふっと自分の来し方を思うことがあります。鳥になって、自分の歩んできた道を想像してみるのです。地図を広げて、歩んだ道を鉛筆でなぞってみるのです。

母の胎内で私は編み上げられ(詩139・13)、産まれ出た私は地図上に絵を描き始めます。幼少年時代の絵、中高生時代の絵、青年時代の絵、30代、40代、50代、60代の絵が次々に浮かび上がってきます。

30代の絵の中に、一ヶ所だけ、線によって黒く塗りつぶさ

れた箇所があります。それは私の人生のターニングポイント、つまり、ウイリアムス神学館での3年間の生活です。この期間は私にとって、まさに、「地の底で織りなされたとき」でした。1日3回の礼拝、聖書を読み、思索し、そして学ぶ日々。仲間と寝食を共にし、笑い、泣き、葛藤する日々。「神はどこにいるのか」と問い、迷い、呻吟する日々。



私たちの人生のことを言っているのだと思います。祝日と齋日、

### 1月号の紙面

- ② 両教区主教が語る！／教会紹介／主教巡回予定・・・
- ③ 2021年度諸委員一覧／J'sクリスマス会・・・
- ④ 女性に対する暴力の根絶を求めて祈る／伝道区紹介・・・
- ⑤ ベエル／常置委員会・局長会議報告・・・
- ⑥ 諸記念・・・
- ⑦
- ⑧

教役者や信徒の暖かい主にある交わりに癒やされ、励まされた日々。ウイリアムス神学館での3年間は、まるでイスラエルの民の荒野での40年間の旅のようです。

色で言えば白と紫の糸で私たちの人生は織りなされている、ということだと思っております。

荒れ野での旅はその後も続き、今も続いています。私はどのような絵を描くことができていたのか。祈り書は1ページは、「教会は、祝日と齋日とから成っている」という言葉で始まっている。私は、この言葉は

イエスは弟子たちに、「人の仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」(マルコ10・45)と言われました。イエスは私たちの罪のため十字架につけられ、私たちの罪を贖ってくださいました。そして、復活され、私たちの行く手を照らす光となりました。イエスの人生もまた私たちと同じように、白と紫の糸で織りなされているのです。イエスは私たちの身代金となりました。それほど私たちはイエスに愛されているのです。白と紫の糸で織りなされた私たちの人生は、こんなにもイエスに祝福されているのです。主に感謝。

(新宮聖公会牧師)

## ガバール

「神様とわたし」  
 生まれてこの方元気がけが取り得だと思つて生きてきたが昨年、乳ガンが見つかった。  
 よく目の前が真っ暗になると聞くが、悪性だと言われた日はどうやって帰ってきたか本当にわからない。涙が溢れて止まらなかった。

まさか自分がガンになるなんて。「死」という文字が頭の中に浮かんでくる。  
 抗がん剤治療が始まり、髪の毛や身体中の毛が抜けていく。身体が鉛のように重く、動けない。吐き気が続く。  
 もう嫌だ、しんどい、辛い：そんな時、父が「神様が命を助けてくれたら世の為人の為に働け。神様がもういい、と思ったら死ぬだけや」と。父も4年前にすい臓ガンが見つかり手術を受け、その時に同じ事を話していた。

恐怖と辛さに支配されていたが、「神様に委ねよう」と心から思うことが出来た。  
 夏に手術を終え、治療も順調に進んでいる。神様に助けて頂いた命。命ある限り精一杯生きさせていきたい。

(百済基督教会 西野 美佳)

# 時は近いー 大阪教区・京都教区合同・合併に向かって

我らの神、わが主の麗しさが私たちの上にありますように。私たちの手の働きを私たちの上に確かなものにしてください。

私たちの手の働きを力ある者にしてください。  
(詩編90・17 聖書協会共同訳より)

大阪教区、京都教区の皆様、新型コロナウイルス禍、いかがお過ごしでしょうか。私は、私

# 教が語る！

大阪教区主教 アンデレ  
いそ 礎 はる 晴 ひさ 久



も新型コロナウイルスにかかって死ぬかもしれない一人の人間に過ぎない、裸の人間として脆弱な存在であることを痛感しながら過ごしています。脆弱さの自覚、そこをスタート地点に据えないと、新型コロナウイルスの後の世界を再構築できないのではないかと考えています。この件については、是非皆様とお話し合いを続けて参りたいと願っています。

関西弁・大阪弁で読んだのは「まっか？」ここで関西弁・大阪弁と言うのはイントネーションのことです。共通語で本が書いてあるからといって、皆標準語のイントネーションで読んでいくかという、そうとは限りません。私はきつと、聖書も本も大阪弁のイントネーションで読んでいきたいと思います。以前神戸教区米子出身の信徒の方から、「磯先生のチャントの歌い方は、大阪弁で、いいですね。ほつとします」と言われ、どう言葉を変えたらいいか、戸惑ったことがあります。

禍、各教会では丁寧な牧会が模索されていることと存じます。大阪教区と京都教区が1つとなり、人材的にも財政的にも豊かにされて、さらに丁寧な牧会が実現できるようにあります。さあ！そろそろ神様のお力を頂いて、私たちの手の働きを確かなものに、力あるものにする時がやってきました。「主はこう言われる。公正を守り、正義を行え。私の救いが到来し、私の正義が現れる時は近い。」(イザヤ56・1 聖書協会共同訳より) 神様を信頼して、新しいステージに上がりますように。主の導きを祈りつつ。

## 主教巡回予定(2月)

### ●大阪

- 7日 大阪聖アンデレ教会
- 14日 富田林聖アグネス教会 (聖信受領者総会)
- 21日 大阪聖三一教会 (聖信受領者総会)
- 28日 尼崎聖ステパノ教会 (聖信受領者総会)

### ●京都

- 14日 加悦聖三一教会
- 21日 桃山基督教会
- 28日 富山聖マリア教会

## 教会紹介 大阪編

### 川口基督教会

1859年、日本プロテスタントの初宣教師として長崎に着任された米国聖公会宣教師、C.W.イリアムズ主教は、1868年の大阪開港とともに、1869年に大阪に移住し、川口の自宅に設けたチャペル大阪で1870年から礼拝を始めました。この地でのキリスト教宣教の始まりであり、当教会の宣教150年の第一歩となった。ここ日本近代文明の発祥地「川口居留地」では、来日宣教師たちが伝道を始め、立教大学、プール学院、桃山学院、平安女学院などのミッションスクールや病院などが建てられた。聖堂は1945年の空襲や1995年阪神淡路大震災による被害からの復元を経て、2020年に聖堂聖別100年、主教座聖堂指定70年を迎えた。(司祭 柳 時京)



# 両教区主

京都教区主教 ステパノ  
こうち 敬  
ち地 たかし



く変わります。例えば、大阪教区は台湾聖公会との関係を大事にしてこられました。京都教区はミヤンマー聖公会のミッチーナール教区との関わりがあり、留学生を受け入れたりしてきました。これまでではそれぞれの教区が「独自にやっていること」でしたが、教区報の合併と今後の教区の合併によって、台湾もミッチーナールもみんなの事柄になっていきます。

次に、それぞれの教区の伝統の違いについてです。同じ日本聖公会なので基本は同じなのですが、微妙に違うところがあります。これまで十数年にわたる協働の結果見えてきたことがたくさんあります。例えば、物事を決めていく過程がなんか違って、戸惑うことが何度もありましたが、関係の皆さんがそのたびに乗り越えて来てくださいました。互いの性格に違いがなく全く同じなら、それこそ合併する意味がありません。いろんな違いがあるからこそ共に働き合併することができ、より良い方向を探ることができそうです。繰り返しになりますが、同じ聖公会なので基本は同じです。

もう一つ挙げておきましょう。二番目のことと通じるのですが、それぞれの教区が持ってきた経験を持ち寄ることで、宣教方策を新たにその可能性が広がります。例えば、オルガンコンサートには信徒ではない方が多く教会に出かけると言われるのですが、その具体的な運営の方法を考えると、選択肢が広がり、さらにこれまでになかった形が生み出されるかも知れません。その上に、教会に來られた方に教会の信仰について知ってもらおう無理のない方策を共に考えることができます。

もう一つだけ。教役者が不足してきていると言われます。確かにその通りなのですが、教区の宣教が活発になれば、聖職を志願する人は自然に増えますし、信徒の皆さんの働きもあり方もさまざまに考えていくことになりそうです。

「都合の良いことばかり書いて」とお叱りを受けるかも知れませんが、今の思いを率直に書かせていただきました。教区の合併は、あくまでも各教会のお働きを支える体制を固めるためです。教会の信仰によって心豊かにされること、そして、楽しくうれい教会生活が過ごせること、それをまず一番のこととして、教区合併への道筋を前に進みたいと思えます。

## 教会紹介 京都編

### 聖アグネス教会

昨年の復活日から50日間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため礼拝をお休みしました。その間も日曜日に知らないでこられた方のために有志の方が対応してくださったことに感謝します。昨秋、ある大学の学生たちがゼミのスタッフと共に、教会を訪ねてくださり「礼拝堂の空間」について質疑応答の時間が与えられたことは嬉しい出来事でした。もうひとつ嬉しいことは、近隣の保育園の園児約60名あまりが見学と礼拝のため、降臨節の季節になると訪ねてくれることです。礼拝堂に子どもたちの声が響き渡りました。小さなお客さまにも喜んでもらえる教会になりますように。

(司祭 大岡 創)



## それぞれの教会の働きのため

大阪教区と京都教区の教区報が、関係の皆様のご努力により、今号から合併されました。2年余りの準備期間を要しましたが、特に大阪教区報は隔月発行だったものを毎月発行にして昨年1年試行してくださいました。

教区報は合併すると紙面が増えることになり、ある意味で合理的ではありませんが、一方で、私たちは、より多くの情報をより多くの皆さんと分かち合うことができるという、信仰生活の上で豊かな経験をする事になります。紙面に載せられる記事は単なる情報ではなく、多くの思いが込められたものであるからで

す。例えばある教会のイベントのうれしい報告が掲載されますと、これまでの倍ほどの人数がそれを読み、うれしい気持ち伝わり、いくつかの教会が具体的な行動を起こす可能性が大きくなります。このようなことは、教区報が合併したから起こることなのではないでしょうか。

これまで大阪教区も京都教区もそれなりに頑張って宣教活動をしてきましたが、合併したから起こることがたくさんあります。まず、互いの教区のことについて、距離的には少し近いけれども、教区が違うから自分に関係のあることとしては受け止めていなかった。けれどもそれが大き

く変わります。例えば、大阪教区は台湾聖公会との関係を大事にしてこられました。京都教区はミヤンマー聖公会のミッチーナール教区との関わりがあり、留学生を受け入れたりしてきました。これまでではそれぞれの教区が「独自にやっていること」でしたが、教区報の合併と今後の教区の合併によって、台湾もミッチーナールもみんなの事柄になっていきます。

次に、それぞれの教区の伝統の違いについてです。同じ日本聖公会なので基本は同じなのですが、微妙に違うところがあります。これまで十数年にわたる協働の結果見えてきたことがたくさんあります。例えば、物事を決めていく過程がなんか違って、戸惑うことが何度もありましたが、関係の皆さんがそのたびに乗り越えて来てくださいました。互いの性格に違いがなく全く同じなら、それこそ合併する意味がありません。いろんな違いがあるからこそ共に働き合併することができ、より良い方向を探ることができそうです。繰り返しになりますが、同じ聖公会なので基本は同じです。

もう一つ挙げておきましょう。二番目のことと通じるのですが、それぞれの教区が持ってきた経験

# 大阪教区 2021年度 局員・諸委員等一覧

(敬称略)

## ★教区主教

主教 磯 晴久

## ★常置委員

司祭 柳 時京(長)、司祭 千松清美、司祭 内田 望、

辻 節子(トマス)、太田幸彦(ルシヤ)、辻 彩乃(川口)

## ★総会代議員

司祭 柳 時京、司祭 千松清美、太田幸彦(ルシヤ)、

## ★会計検査委員

鈴木光子(ステパノ)

春名英夫(マタイ)、山本多津子(マルコ)

## ■総務局

局長 司祭 内田 望

司祭 林 正樹

☆歴史編集委員会

司祭 韓 相敦

☆広報委員会

司祭 小林 聡

☆管財委員会

☆納骨堂設置申請担当

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆分腆旺(聖愛)

☆教区墓地管理委員会

太田幸彦(教区事務所)

☆大阪教区成立100周年準備委員会

司祭 内田望、司祭 ウイルソンウォーレン、司祭 古澤

秀利、辻潤(マルコ)、鈴木憲二(ステパノ)、山村小夜子(川口)

☆宣教局

局長 司祭 ウイルソンウォーレン、(副)司祭 古澤秀利

☆社会宣教委員会

司祭 古澤秀利

☆在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会

司祭 古澤秀利

☆聖職試験委員会

司祭 原田光雄

☆聖職養成委員会

司祭 林 正樹、司祭 千松清美

☆聖職養成委員会

司祭 林 正樹、司祭 千松清美

☆聖職養成委員会

司祭 林 正樹、司祭 千松清美

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

☆聖職養成委員会

司祭 内田 望

☆牧会支援委員会

司祭 義平雅夫

☆主教座聖堂参事

司祭 柳 時京

☆教区審判廷審判員

主教 磯 晴久

☆神学生後援会常任理事

主教 磯 晴久

☆管区連携の担当者

・青年司祭 金山将司

・正義と平和司祭 原田光雄

・人権司祭 原田光雄

☆大司宗

主教 磯 晴久、太田幸彦

(教区事務所)

☆災害対策本部担当者

司祭 内田 望、太田幸彦

(教区事務所)

☆諸団体

☆教区婦人会

山村小夜子(川口)

☆連合男子会

鈴木憲二(ステパノ)

☆教区GFS

岡崎敬子(三一)

☆教役者会幹事

司祭 林 正樹、司祭 千松清美

清美、司祭 成岡宏晃

★聖公会生野センター大阪教区後援会常任委員

主教 磯 晴久

★大阪キリスト教連合会

主教 磯 晴久

★日本聖公会婦人会

井上恵美子(マリヤ)



昨年、コロナに始まりコロナで終わってしまいましたが、皆様お元気でしょうか？

先日12月12日(土)にJ's キャンプメンバーによるクリスマス会が行われました。

今回は例年と変わって、感染予防を徹底した現地(下鴨基督教会) 参加とZoomによるオンライン参加に分かれての開催という運びになりました。

クリスマス会では、第一部でクリスマス礼拝、第二部でお楽しみ会としてクイズやゲームをして楽しみました。

本来であれば3月に沖縄にてJ's キャンプが行われ、続いて夏

にも北小松で行われる予定でしたが、情勢が落ち着かず両方も中止となっていたために久しぶりの再会となりました。

また、昨年からJ'sメンバーの一員となってくれる中学1年生の参加者も加わり、新たな出会いの集まりとなりとても賑やかになりました。

まだまだ予断を許さない状況ですが、今年こそは新たなメンバーを含めた形で楽しく過ごせることが出来ればと願っています。

中高生の皆様、保護者の皆様、J's キャンプの取り組みをご支援してくださる皆様が、ご健康に守られて過ごされますようにお祈りしています。

(聖アグネス教会 荒木 天音)



# 京都教区 2021年度 局員・諸委員等一覽

(敬称略)

## ◆常置委員〔委員長〕

大岡左代子司祭、出口崇司祭、古本靖久司祭(書記)、佐々木靖子、出口弘、高垣成美

## ◇総務局〔局長〕

谷口寛

## 【総務】〔長〕

谷口寛(総務局長)、大岡左代子司祭(礼拝、宣教局礼拝部長)、古本みさ司祭(渉外、宣教局海外情報部門長)

## 【教役者福利】〔長〕

谷口寛(総務局長)、門脇光禪司祭、古賀久幸司祭、大岡創司祭、奥晋一郎司祭、中尾貢三子司祭、鈴木恵一司祭(各伝道区長)

## 【資料室】〔長〕

谷口寛(総務局長)、黒田裕司祭、教務所(事務局)

## 【法人関係】〔長〕

谷口寛(総務局長、教務所主事)、前田満(財政局長)

## 【つのぶえ】〔長〕

古本靖久司祭、柳原健之執事、尾松澄代、小野恭子、伊藤美佐子

## 【情報発信】〔長〕

鈴木司祭、吉村伸、天野真由美

## 【災害緊急対策】〔長〕

谷口寛(総務局長)、出口崇司祭(宣教局長)

## ◇宣教局〔局長〕

出口崇司祭

## 【宣教部】〔長〕

出口崇司祭、奥司祭、古本みさ司祭、大岡左代子司祭、鈴木司祭、佐々木靖子

## 西井智子(事務局)

海外情報部門〔長〕古本みさ司祭、マークシユタル司祭、荒木太一司祭、松山健作司祭、松川哲広、ノリーン・キン・レー・ニュー、葛西信宏、篠田茜(大阪/協力委員)

## 【礼拝部】〔長〕

大岡左代子司祭、池本則子司祭、中尾司祭、江渡由直執事(2021年3月まで)、西井浩子、安藤邦子、加藤大、木村直史、中川典子、松本誠、辻彩乃(大阪/協力委員)

## 【社会部】〔長〕

奥司祭、奥村貴充司祭、岩田光正司祭、石垣進司祭(嘱託)、橋田愛、浮田倫太郎

## ※聖公会生野センター活動協力委員

奥司祭、岩田司祭

## 【教育部】〔長〕

鈴木司祭

## ○小学生部門

柳原執事、藤本仁

## ○J's部門

松山司祭、菊地玄

## ○キッズフェスティバル担当

藤原健久司祭、鈴木司祭、柳原執事

## ○青年活動窓口

鈴木司祭、瀬戸栄

## ○保育園・幼稚園・こども園教職員研修部門

長藤原司祭、三浦恒久司祭(4)

## 月から嘱託、大岡左代子司祭

中尾司祭、磯野真紀子(大阪/協力委員)

## ※聖公会保育連盟担当

大岡左代子司祭

## 【平和学習委員会】〔長〕

佐々木靖子、伊藤美佐子、小野周一、岩城健太、寺本眞名、齋藤佳子

## ◇財政局〔局長〕

前田満

## ○日本聖公会法規、②教区会、③教区主教、④常置委員会 などによって立てられた委員

## ○教区審判廷審判員①(任期2017年定期教区会終了後) 2021年定期教区会終了後)

(長)高地敬主教、北山和民司祭、大岡創司祭、古本みさ司祭、高垣成美、伊藤美佐子、上田康介

## ○会計監査委員①

奥村司祭、池田修一

## ○主教座聖堂理事③

大岡創司祭、古本みさ司祭、出口崇司祭、西井智子、野々内恵美子、中川典子、南寛、リース節子

## ○聖職試験委員(大阪・京都合同委員会)①

大岡創司祭(京都)、門脇司祭(京都)、三木マイ司祭(京都)、原田光雄司祭(大阪)、ウイilson ウォーレン司祭(大阪)、内田望司祭(大阪)、松平功司祭(大阪)、中村允之(京都)、佐々木靖子(京都)、野知卓司(大阪)、鈴木光子(大阪)

## ○聖職養成委員③

藤原司祭、大岡創司祭、池本則子司祭、小林宏治司祭(4月から)、安藤邦子、小野美知江、福田正和

## ○教役者継続研修委員③

(長)古賀司祭、北山司祭、大藪義之司祭、奥村司祭、松本嘉一、森山邦子、加藤大、木川田道子

## ○神学生奨学後援会幹事②

(長)古賀司祭、大藪司祭、前田満、高垣成美

## ○特別財産運営委員④

(長)出口弘、古本靖久司祭、前田満、西村悦男、高垣成美、山本友理、谷口寛(特財主事)、山岸洋(アドバイザー)

## ※大阪教区委員

磯崎久主教、ウイilson司祭、柳時京司祭、辻彩乃、太田幸彦(陪席) 辻潤

## ○信徒の奉仕職プロジェクトチーム③

大岡創司祭、大岡左代子司祭、鈴木司祭、中川典子、佐藤由佳

## ○日元牧師性暴力事件における京都教区による二次加害検証報告作成チーム④

7名

## ★伝道区長(任期2020年定期教区会終了後) 2023年定期教区会終了後)

(京都)大岡創司祭(若丹)古賀司祭(和歌山)鈴木司祭(大和)奥司祭(三重)門脇司祭(北陸)中尾司祭

## ★教区婦人会チャプレン

藤原司祭

## ★教区GFSチャプレン

大岡創司祭

## ★教区人権担当者

橋田愛

## ★教区青年担当者

鈴木司祭

## ★教区正義と平和担当者

佐々木靖子

## ★教区宣教担当者

出口崇司祭

## ★教区広報担当者

古本靖久司祭

## ★「宣教協働区」協働委員

大岡左代子司祭、伊藤真紀

# 女性に対する暴力の

## 根絶を求めて祈る2020

今年の「女性に対する暴力の根絶を求めて祈る」礼拝は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、公開での礼拝はとりやめて動画配信をすることとなりました。すでに動画を見てくださった方もおられるかと思いません。

この礼拝は、「世界のジェンダー暴力と闘う16日間キャンペーン（11月25日～12月10日）」に連帯し、4年前から東京教区主教座聖堂の礼拝として実施され、昨年から管区女性デスク、正義と平和委員会ジェンダープロジェクトも共催で行うようになりました。聖公会のみならず、様々な女性に関わる機関が連携しています。また動画収録は東京教区の全面的な協力をいただいて行うことができました。

今年の聖書箇所は『士師記第19章22節～30節』。この箇所を読むば「どうしてこんな酷いお話が聖書に収められているのか？」と誰しもが思うことではないでしょうか。「こんな残酷な話があるのを知らなかった」という声

「女性に対する暴力の根絶を求めて祈る」礼拝



も聞きます。聖書らしからぬ記事だと多くの人が思われるかも知れませんが、「性暴力」について考える時、この箇所はよく用いられます。さらに『聖書』という書物にわざわざこのような物語が収められ語り継がれているのは、この物語の読み手がより深く、また真剣にわたしたちの生活の中で起きる「暴力」について考え、被害者の思いを想像し、また必要な行動について考えるようにとの呼びかけである、と改めて思うものです。

上田亜樹子司祭による説教・沈黙の後、  
アンセム「Jesus Walked This Lonesome Valley」  
イエスはこの寂しい谷を歩いて行かれた

が奉唱されました。この聖書箇所の中で名前も知らされず、一言も発しないまま酷い暴力の犠牲者となった女性と、ひとりて寂しい谷を歩まれるイエスの姿が重なりました。

暴力の犠牲者になるのは女性に限りません。けれども、あえて「女性に対する」と謳われているのは、あらゆる暴力を受けるのは圧倒的に女性が多いからです。そこにはジェンダーによる差別や、社会の構造の中で孤立させられやすい「女性」が存在しています。暴力防止に至るにはどんな方法があるだろうか？と考えますが、何よりも「見過ごしにしない」文化をつくることではないかと思えます。

今後も「女性に対する暴力の根絶を求めて祈る」礼拝を継続し、教会が暴力に対して「NO」と言うように呼びかけて参ります。

(管区女性デスク  
司祭 大岡 左代子)

### 和歌山伝道区のご紹介

和歌山伝道区長 司祭 鈴木 恵一

和歌山伝道区には、岸和田市と和歌山県に10の教会と集会があります。幼稚園や保育園、高齢者施設などの働きを持つている教会が多くあります。大阪教区のみなさんには活発にボランティアキャンプがおこなわれていた愛の園などを懐かしく思われる方も多いと思います。

和歌山県の南から北そして大阪府の南に広がる各教会は、隣の教会にいくのには近くても車で走り続けて30分ほど、遠いところでは2時間近くかかりま

す。電車を乗り継いでも、1時間から3時間ほどはかかるでしょう。伝道区の集まりをするときは、移動時間のほぼ中央になる田辺聖公会でおこなうことがほとんどです。教会の地理的な距離は離れていますが、教会のさまざまな働きをおたがいに支えあっておこなっています。

ご用事などでお近くにお越しの際はぜひ和歌山伝道区の教会にもお立ち寄りください。

(司祭 鈴木 恵一)



### へエル 婦人会だより

今年から2年間、京都教区婦人会事務局を、若丹・京都伝道区の小浜聖ルカ教会・聖アグネス教会・京都聖マリア教会が担当させていただきまます。

三重伝道区が担当された昨年の大会は中止、代表者会も初めての書面議決となりました。その原因であるコロナ禍も未だに収束の予測が立ちにくい状況です。またこの一本化された誌面からも伺えるように、京都・大阪教区の合併、ひいては日本聖公会の再編も視野に入れなければならない課題です。

これまでも、会員減や高齢化という懸案事項を前に、活動のあり方を模索してきたと思いますが、大きな流れの中で、京都教区婦人会がどのように進んでいくかを真剣に考える時期が来たと感じています。

不確定要素の多い中での出発ですが、教会全体を考えながらこの局面で何が示された道なのかを探っていきたいです。

これから2年間の活動が、御心になつたものとなりますよう、皆さまと共に祈りつつ歩みたいと願っております。

(京都聖マリア教会 小林 格子)

### 京都教区

**【常置委員会報告】** 11/30 (臨時)

1. 諮問事項
  - 3月末4月初めの人事異動について可と答申した。

12/17 (定例)

#### 1. 報告事項

- ▼常置委員長報告
- 12月8日、コンサルタント会社選定のために教区主教、特財委員、常置委員が合同で3社から説明を受けた。
- 新型コロナウイルス感染症の第三波到来を鑑み、各教会のクリスマス礼拝を年末年始の礼拝状況についての対応を調査し、12月8日現在の状況を教務所から配信した。

### 大阪教区

**【常置委員会報告】** 11/23 (第1回)

1. 協議事項
  - \*常置委員長に柳時京司祭を、書記に太田幸彦氏を互選した。

12/17 (第2回定例)

#### 1. 主教報告及び諸報告

▼総務局  
教区報が1月から京都の「つ乃ぶえ」と合併する。

\*各施設へのクリスマスプレゼントの配達を行った。

#### 2. 協議事項

- 岸和田復活教会信徒、岸雅子さん、熊取谷志郎さんの信徒奉事者推薦書が提出され推薦した。
- 京都復活教会信徒、加藤大さんの信徒奉事者推薦書が提出され推薦した。
- 藤井和人神学生およびダビデ梁権模神学生を聖職候補生へ推挙した。
- 特別財産を運用するためのコンサルタント会社について、特別財産運営委員会から推薦があったエフ・スタッフに依頼することを承認した。
- 2021年度局員・諸委員人事について承認・決定した。
- ハラスメント防止委員会から推薦のあった2021年度ハラスメント防止委員について

#### ▼宣教局

東京教区の礼拝音楽委員会と共同で12月24日から教区HPに音の出るクリスマスカード動画を上げる。

#### ▼財政局

2021年から実施する「牧会献金」の献金袋を作成し、年明けに各教会に配布する。

OK運営委員会

#### 2. 協議事項及び主教諮問

- 合併後の教区名を来年の教区会後に公募する予定。
- 第126(臨時)教区会は3月21日(日)15時から川口基督教会で

承認した。

聖職按手式の日程を協議し、決定した。

2021年度期

- 第117(定期)教区会について、11月23日9時~17時に教区センターでおこなうこととする。
- 書記は鈴木恵一司祭(長)と奥晋一郎司祭とする。

#### 3. 諮問事項

- アンデレ江渡由直執事およびルカ柳原健之執事の司祭志願について、可と答申した。
  - 3月末4月初めの人事異動について、可と答申した。
- (文責・常置委員会書記)

#### 【局長会議報告】

12/9

#### 1. 総務局報告

- ▼京都教区「つ乃ぶえ」が2020開催する。
- 第127(定期)教区会は11月23日(火)開催。
- 教区礼拝は中止とし、教区内人事交流を9月19日(日)に行う。

各教会から推挙されている信徒奉事者を承認した。

2021年度のOK運営委員会委員を選定した。

急増しているコロナ禍中で公祷を中止している教会があり、教会委員選挙結果と統計報告の提出期限を延長する。

コロナ禍状況の急変に対応す

0年12月号で最終号となり、次号「つ乃ぶえ」からは大阪教区との合併号となる。価格は1部70円から1部50円となる。

- ▼京都教区教役者会が2021年1月26日~28日に教区センターで行われる。

#### 2. 宣教局報告

▼J's部門はオンラインクリスマス会を12月12日(土)に行つた。(下鴨基督教会)

#### 3. 財政局報告

▼2020年度教区経常費収支月次報告(11月30日)

#### 4. 協議事項

▼2020年度各局人事案の検討を行った。

▼管区より2020年度各教区決算見込みに関する質問(アンケート)を検討した。

(文責・局長会議書記)

そのため、対策関連委員を選定した。

中日本宣教協働区・協働委員会委員は、柳時京司祭、太田幸彦主事とする。

2021年度の教役者人事を承認した。

3局長人事は、総務・内田望三司祭、宣教・ウィルソンウオーレン司祭(副局長古澤秀利司祭)、財政・辻潤氏とすることを承認した。

教区創立100周年準備委員を、3局長、主事、連合男子会長、教区婦人会長とする。

大阪教区関係者教役者  
逝去者記念聖餐式

2月10日 (水) 10:30~

- 1日 宣教師 エルザ・M・キーン (1949 英)
- 3日 司 祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
- 5日 司 祭 バークレー・フォーウェル・バクスト(1946 英)
- 8日 宣教師 フランシス・エドワード・ハモンド(1932 英)
- 10日 司 祭 祖山 達三 (1941)
- 10日 司 祭 皆川 晃雄 (1952)
- 10日 宣教師 フローレンス・マリアン・ファジル(1956 英)
- 13日 伝道師 マリア 奥田 ヤス子 (1949)
- 14日 司 祭 J・ハミルトン・クインビー (1882 米)
- 16日 司 祭 ステパノ 久保 登知雄 (1981)
- 17日 司 祭 ジョージ・ヘンリー・ポール (1929 英)
- 19日 伝道師 小橋 かつえ (1964)
- 20日 司 祭 ヨセフ 松岡 安立 (1972)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分  
から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかか  
わらず、どうぞ自由にご参加ください。

京都教区関係逝去教役者  
記念聖餐式

2月17日 (水) 10:30~

- 2日 司祭 岡嶋 松太郎 (1974)
- 3日 司祭 パウロ 大橋 麟太郎 (1947)
- 3日 司祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
- 10日 司祭 皆川 晃雄 (1952)
- 13日 司祭 高松 孝治 (1946)
- 13日 主教 マタイ 森 譲 (1990)
- 18日 司祭 パウロ 大岡 義政 (1984)
- 20日 司祭 ヨセフ 田中 愛次 (1995)
- 21日 司祭 ペテロ 小柴 早次 (1973)
- 24日 司祭 ヨハネ 堀井 治一郎 (2002)
- 26日 主教 S・H・ニコルス (1965)
- 27日 司祭 ヨハネ 大和田 功 (2009)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分  
から、聖アグネス教会で行われます。

洗 礼

大阪城南キリスト教会

キレネのシモン 辻岡 雅美 (12月10日)

大阪聖アンデレ教会

ヨハネ 池邊 亮輔 (12月20日)

聖婚おめでとう

大阪聖ヨハネ教会

堂田 辰徳 (11月14日)

奈良基督教会

熊巳 創 (12月26日)

逝 去 者

芦屋聖マルコ教会

小林 直子 (11月13日)

大阪聖アンデレ教会

濱田 啓 (11月18日)

初島聖十字教会

上田美智子 (12月13日)

奈良基督教会

和田さわ子 (12月18日)

京都復活教会

本田喜美子 (12月20日)

川口基督教会

原口 治子 (12月21日)

桃山基督教会

サラ 児玉 耀子 (12月25日)

サラ 長谷川とよ子 (1月1日)

伊サク 飯田 明史 (12月25日)

お詫びと訂正

○大阪教区報481号(12月号)  
6ページ逝去者の欄

吉井美千枝さんの名前が間違っ  
ておりました。

千美枝(誤) ↓美千枝(正)

○京都教区報741号(12月号)  
4ページ洗礼の欄

中村 おとさんの洗礼名が間  
違っておりました。

ミリアム(誤) ↓ヘレナ(正)  
関係者の方々に  
お詫びし、訂正  
いたします。

(編集部)

